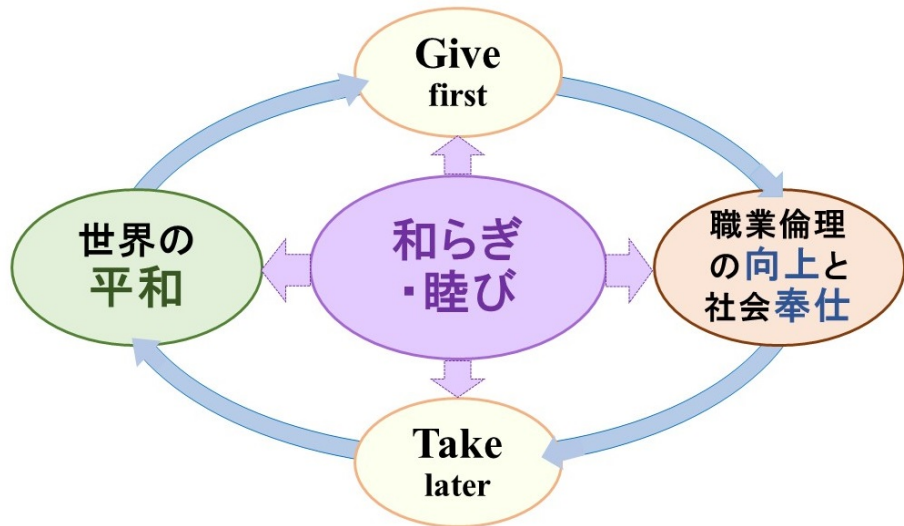


会長の時間 第1回

「四つのテスト」の意味



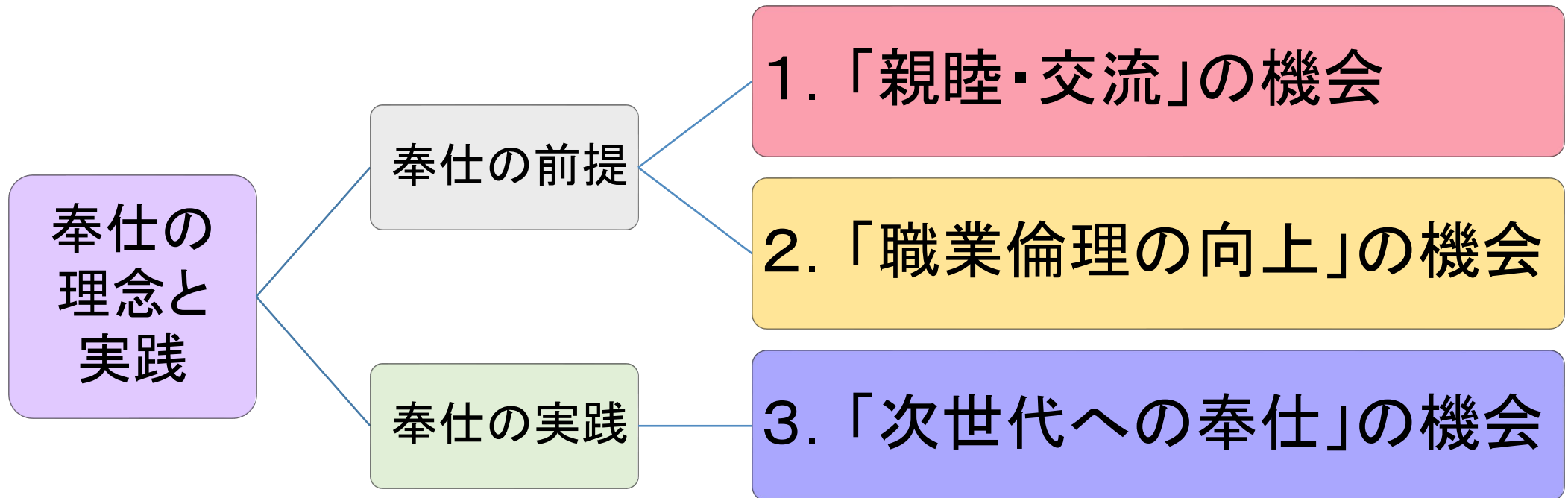
RI第2720地区 日出ロータリークラブ
2020-2021年度 会長 加賀山 茂



加賀山年度 会長のテーマ

「①和らぎ睦びて, ②事を論じ,
③次世代への奉仕活動を実践しよう」

上和下睦, 諧於論事, 則事理自通, 何事不成。



四つのテスト(英文との対比)

日本語

- 言行はこれに照らしてから
 1. 真実かどうか
 2. みんなに公平か
←公正か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるかどうか

英語

- Of the things we think, say do
 1. Is it the TRUTH?
 2. Is it **FAIR** to all concerned?
 3. Will it build GOODWILL and BETTER FRIENDSHIPS?
 4. Will it be BENEFICIAL to all concerned?



四つのテスト(反対概念との対比)

正文 (他者への奉仕)

- 言行はこれに照らしてから
 1. 真実かどうか
 2. みんなに公平 (impartial) か
みんなに公正 (Fair) か
 3. 好意と友情を深めるか
 4. みんなのためになるかどうか

反対文 (儲けさえすればよい)

- 言行はこれに照らしてから
 1. 嘘 (フェイク) も方便でよい。
 2. 自由競争 (やりたい放題) でいい。
 3. 悪意と敵対を招いてもいい。
 4. 私 (あなた) のためになれば、それでよい。



四つのテスト(構造化)



ロータリーは機会の扉を開く

4. みんなのためになるかどうか
(目的:最大多数の最大幸福の実践)

主観的
手段・方法

客観的
手段・方法

3. 好意と友情を深めるか
(平和・親睦)

2. みんなに公平(公正)か
(職業倫理)

1. 真実かどうか(裏を取る)
(科学的検証と歴史の審判)

参考文献

■ 法律家の思考方法

- イェーリング(小林孝輔=広沢民生 訳)『権利のための闘争(原著1872年)日本評論社(1978)
- カイム・ペレルマン(江口三角 訳)『法律家の論理—新しいレトリック』木鐸社(1986)
- フィッシャー=ユーリー(金山宣夫, 浅井和子訳)『ハーバード流交渉術』三笠書房(1990)

■ 生物・ヒトの本質に迫る

- 福岡伸一『生物と無生物のあいだ』講談社現代新書(2007/5/20)
- 福岡伸一『できそこないの男たち』光文社新書(2008/10/20)
- 中屋敷 均『ウイルスは生きている』講談社現代新書(2016/3/20)
- ジェームズ・C・スコット(立木勝訳)『反穀物の人類史—国家誕生のディープヒストリー』みすず書房(2019/12/21)
- シーナ・アイエンガー(櫻井祐子訳)『選択の科学(The Art of Choosing)』岩波書店(2010)

■ 議論の方法

- アリストテレス(山本光雄訳)「弁論術」『アリストテレス全集16』岩波書店(1968/12/10)1-329頁
- 岩田宗之『議論のルールブック』新潮新書(2007)206頁
- スティーヴン・トゥールミン(戸田山和久, 福澤一吉訳)『議論の技法(The Uses of Argument(1958, 2003)) トールミンモデルの原点』東京図書(2011)

■ 学習方法論

- フリチョフ・ハフト/平野敏彦訳『レトリック流法律学習法』[レトリック研究会叢書2]木鐸社(1992年)
- 加賀山茂『現代民法 学習法入門』信山社(2007)
- 石川一郎『2020年の大学入試問題』講談社現代新書(2016/2/20)
- リヒテルズ直子『今こそ日本の学校に！ イエナプラン実践ガイドブック』教育開発研究所(2019/9/1)
- バイロン・リース(古谷美央訳)『人類の歴史とAIの未来』ディスカバー・トゥエンティワン(2019/4/30)

